



貴族である主人の
精液を受ける事が
出来るのは 正室と
同階級の家柄を持つ者
のみであるが

癒えやすく増えやすい
下級魔族の雑種を好んで
奴隷として飼いならす
汚れ好きな貴族も
中にはおり 「三人」は
そこで飼われていた

ビュク...

いっ
ぐあ
う!!

三人にここで飼われる
以前の記憶はなく
物心ついた時から
食べ物、貴族の侍女の
残飯と、時折与えられる
主人の精液のみである

かきと
も

なめ
これ?

あ
あ

精液は食料に過ぎず
未成熟で、本番の無い
彼女らにとって
夜伽の時間は
軽い奉仕と食事
という感覚であった